常磐毎日
発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電（代表）2104番
2105番

産婦人科
駅より三分
齊藤医院
平市南町　電二九〇三
↓入室完備

義父をナタで切り逃走
平尾を傷害で指名手配

磐城署は二日、磐城市上荒井字橋の上、無職傷害など前科三犯、平尾正巻（三四）を傷害の疑いで全国指名手配した。

一日夜八時ごろ義父である雑役夫の野口勝義さん（五〇）と口論の末、自宅にあったナタでなぐり、後頭部から左耳にかけて長さ十センチのひん死の重傷を負わせ逃走した。平尾は日ごろから仲が悪く、「ヤツチャル」ともらしていたという。実行の日も実母トシさん（四七）と義父の野口さんが正春のことについて口論しているのを聞いて犯行におよんだものらしい。【写真は犯人の平尾】

片手片足の画家
生きる望みを画にたくし全国行脚
平に立寄り市長に一筆

しようとして習いおぼえた図画に大きな希望をたくして左手で絵を描く修練を重ね、野の撮影と生活設計を生み出すことになった。

酔つぱらい運転のトラックに追突され、右手首、右足首を切断された一画家が生きる望みを絶たれた全国行脚途中のきょう二日朝平市を訪れた。

この人は愛媛県出身でいまは大分県大分市上野六坊東組に住む中井覚哉さん（三九）。東京武蔵野美術学校を卒業して大分市で高校の図画教師をしていた去る二十九年五月、市内を歩行中に酔つぱらって運転してきたトラックに追突された。このため中井さんは右手首、右足首切断、頭部陥打で言語障害となり、寝たきり生活を続けた。その後身体も回復、三十二年八月に退院した矢先に疲の絶枝さん（三七）が結核で入院、小学校三年生の子供と老母を不自由な身体で抱わねばならぬ苦境となった。これを克服しようとして習いおぼえた図画に大きな希望をたくして左手で絵を描く修練を重ね、野の撮影と生活設計を生み出すことになった。

準決勝で釜石と対戦
都市対抗野球　東北大会組合せ

夏の球界、都市対抗東北代表を決める第三十回都市対抗野球第二次予選東北大会は十一日から仙台市の県営宮城野球場に東北各県代表八チームが参加して行われるが、組合せが一日行われた結果、地元常磐炭礦チームは一回戦に青森県だい表の青森林友と、また第二試合は仙台を破って優勝をねらう若手揃だい表釜石製鉄と対戦、実質的な優勝戦を行うものと見られるなお今度の大会は三十回目を記念してニチームが出場することになつており、組合せから見て常磐と清陵伸鋼の二福島だい表が出場出来る可能性もある。

一名が重軽傷
バイクと三輪車が接触

一日午後零時四十五分ごろ、常磐市関船字上関二地内国道第一ブロークリーで、同市湯本下浅貝九〇、管野政一（二八）の運転するバイクと平市上荒字原田五〇、永井くに明さん（三二）の運転するオート三輪車が接触。このためバイクの荷台に乗っていた同字常磐炭礦習技生有坂清さん（一八）は荷台からとび出し、腰部を打つて全治一カ月の重傷。管野さんも左足、背中に一週間の打撲傷をそれぞれ負つた。バイクは小破して損害千円を出した。

一万円をスらる

二日午前二時四十二分常磐線平窟下り急行〝おいらせ〟に乗っていた横浜市神奈川区松ケ岡五七、日本横浜検定協会検査員薮野忠衛さん（四一）は土浦、平間を仮眠中、帽子掛けにかけておいた背広上衣の内ポケットから現金九千三百円と一百円分の郵便切手が盗まれた。

〝ときわ会〟が誕生
合唱サークルを統合

NHK平放送局が、このほど第三租放送局昇格にともなう地元放送を始めることになっているが、放送には地元の各サークルが活用されるものと予想して統合の動きが見られている。

平混成合唱団、常磐スパローコーラス合唱団、勿来混成合唱団も放送の登場ばかりでなく、こんど合唱団発展のためにも結集しようと二日午後六時からマルトモホールで統合とき合唱団の発足式を行う。この統合されて合唱団は、会員百余名の県下一〇大合唱団になる。結成式のあと総会を開き、運営方針、役員選出などを行うが、会長には若松記子（鮫潟）役員は右河内（磐女）竹村治（内郷）岡部林之助（湯本第）の各氏に決まるもよう。会員は百二十人である。

アメリカヒロシトの被害増える

樹木を食い荒すアメリカシロヒトは右河内（磐女）竹村治（内郷）岡部林之助（湯本第）の各氏に決まるもよう。会員は百二十人である。

〝安いふとんの斡旋を〟
石城末亡人会の総会

石城地方末亡人会常磐協議会（金沢）は去る二日、常磐、総会は各市町村の単協の正副会長、婦人部長、新年度の斡旋計画と予算案、役員の改選を行なった。

石城地方末亡人会は発足して十七カ所に発足して川端付近などを地に発生しているが、一日さらに市内常磐根町地内新川端の桜一本に二カ所発生している。これまでの発生地をみると平工、平商高校通り、平工、平商高校通りから新川端にかけての桜、柳、プラタナスなど十七カ所に発生して川端の桜一本に二カ所発生しているが見られるのは、平市の新

家出兄妹見つかる
母方の実家に立寄り

二十八日午後三時半ごろ就びに出たまま行方不明となつて安否が気づかわれていた常磐市関船字舘前下、内藤さん方無職杉目ヨシエさん（三）の長男賀郎君（一四）と二女恒子ちゃん（六）は一日午後五時ごろ賀郎さん方の実家である茨城県多賀郡多賀町鳴沢字上町、西山文吉さん方に立寄つたと日立署から常磐に連絡があった。

一・五カ月分で妥結か
呉羽錦工場の夏季手当

勿来市錦町、呉羽化学工場労働組合は賞期手当一カ月分（平均）を要求して会社側と第三交渉を続けていたが、二十七日労組幹部が上京して会社側と妥渉した結果、会社側は最終解答として一・五カ月分を提示した。同労組では幹部が帰場するのを待って態度を決めるが前年度でりも、〇・二カ月分多く受諾すべきだという意向が強いので、今年の賞期手当は一・五カ月分で妥結するとうさんが濃厚になっている。

算数研究会

勿来市教育委員会、勿来市校長会共催の算数研究会は、三日午前八時から勿来第一小学校で行う。算数研究会には、小学校は三十六年度から、中学校は三十七年度からそれぞれ算数指導法を変り、現在の指導法と改正指導法にプランクが出来るので、そのプランクを埋め算数研究会で研究するもの。

九日から通話開始
水石結ぶ無線電話

磐城地区電光通話、水石山目然郡生園では、水石山頂のクラブハウスに電話局を開設、磐山磐之介の開を図ることになっていたが、いよいよ九日から通話が開始される。電話は無線電話で、無線機は平局に新設、下からの通話方法は一〇六番（市外）を呼び出し「水石山」と交換手に申込むと、三分から五分で水石山に無線電話が通ずる仕組み。料金は市内四銭七円。また、水石山頂から通話するときは電話器をあげると平局に無線で接続、市外交換手を通じて東京と即時通話でき、料金は平局管内へかけると十五円、市外は平局市外間の料金に十円を加算される。

不振農協を合併
農協対策の協議会

石城地方農協対策協議会（馬目俊次会長）では六日午前十時から平市の石城農協会館で農協の合併計画などについて協議する。

協議内容は❶農協の合併計画❷本年度農協合併県指導組合の選定❸合併推進対策について。

増える失保給付
六月は前月の倍に

福祉大会と指導者講習会、十月は定例会、厚子紙節旋、十一月講演会、母子福祉懇談会、二月定例会、常磐コンクール、三月は児童劇会、音楽コンクール予選会などお総会の席上、石城福祉事務所嘉井勇丸次長が「国民年金制度の改正について」と題する講演を行ったほか映画「あやまち」など二巻を上映した。

平磐地区の失業者の失保給付状況については前月の給付額に比べると金額では約二倍、実人員にしても約四〇％増えている。なお今年一月からの給付額を見ても毎月うなぎ登りに増えていることがわかった。

それによると六月支払われた失業保険金は実人員で一千三百八十人一千百六十六万二千円となった。

平磐安では（本庁出張所、分庁舎を除く）の失業保険給付状況について調べていたが、六月中に支払ったのは実人員、金額ともに前月の二倍となり、しかも今年一月から見ると毎月うなぎの昇りに増えていたのは、六月中に支払ったのは実人員、金額ともに前月の二倍となり、しかも今年一月から見ると毎月うなぎの昇りに増えていることがわかった。

それによると六月支払われた失業保険金は実人員で一千三百八十人一千百六十六万二千円となった。

少年三人が脱走
平児童相談所　内郷市内で保護

二日午前三時から同四時までの間に平児童相談所の少年A（一四）同少年B（一五）同少年C（一四）の三人が脱走したが、午前八時ごろ内郷市内をうろついているところを手配して捜していた同所員が発見、保護された。

老職員に退職勧告
若返りねらう四倉役場

四倉町鈴木町長は若年職員の振興と役場職員の人事異動を検討していたが、係長クラス三人に退職を勧告、いずれも七月一杯で円満退職することを認めた。退職の決つた人は鈴木嘉氏（水名立哲所職員）高崎利吉氏（厚生課＝国保係）西山幸栄氏（大浦支所長）また八月一日付で発令に予定されている配置転換は厚生課長根本哲郎氏は大浦支所長に、窓口水産課長片寄忠衛氏は厚生課長兼務に、給更の退職勝孔氏は国保係に、同山田直男君は税務課に、同国玉信市君は国保係（増員）となっている。

薬代を横領
療養所の患者組合から

磐城署は二日朝、磐城市関船字上荒井二月十二日夜、磐城市樋町地内路上で同字石井潤さん所有の自転車一台（時価一万五千円）を盗んだもの。犯人は石井が盗んだことを知りながらこれを三千円で買った。なお磐城市内なと十数件の余罪がある。

盗みと故売の二人逮捕

磐城署は二日朝、磐城市関船字上荒井四区同市後藤二、土工星勝正（四二）の二人を盗みと故買の疑いで捕えた。調べによると石井は二月十二日夜、磐城市樋町地内路上で同字石井潤さん所有の自転車一台（時価一万五千円）を盗んだもの。星は石井が盗んだことを聞がある。

内郷一中の駅伝競走

内郷市第一中学校（熊谷亀彦校長）では生徒のスポーツ精神、体力上昇と国土の精神をいかすため四日午前十時から市内一周駅伝競走を行うことになった。各方部別十学区に分けた選手（男子六人、女子三人）を出して対抗競走するもので全コース八・五キロ。

なお同試合の優勝チームには学校長杯、PTA会長杯など盛沢山の賞品が贈られる。

横山バレーが開所

横山バレー（バレー）研究所の開所は五日午前十時から平市公会堂先で開催、二十二日午前十時から平市公会堂先などに約一千七百名が参加して開かれ、大会事務局長に鈴木富蔵氏（勿来）副長に大原勇氏（四倉）が選ばれ、その席上で更生者、更生援護の功労者並び優良支部の表彰を行う。

磐城防犯協の総会

磐城市防犯協会の総会は二十九日磐城磐会館に渡辺警長ら関係者が出席して開き三十三年度会計報告、事業の反省、三十四年度予算案を協議し、次の事業計画案を決めた。総会では犯罪事故を未然に防ぐための手段金をさげてもわが子の幸福のために使う親もおれば、そうでない親も案外に多い」と長いこと目を閉じ、長ダンゾクする。そして最後の言葉は「私は、ここの所長になってから不幸な子どもたちの多いことを認識させられた。この背木四郎、天徳と思って尽くしましょうと結ぶのである。そういうたとき背木さんの表情は名校長に見えるとは職員の話だが、ご本人はそんなこと心境になるのだろうか。

不幸な子が多すぎる
勝運恵まれず28対3

○…このところ不況がたたり現実手当はきつぱり気勢のあがらない磐炭労では石井広雄委員長以下磐部、職員にいたるまで意気消沉の呈。「企業整備問題に関係つかなければや…」と不安の色強いようだ。

○…このほか県石城市役所で開かれた石炭危機突破委員会結成会議は高萩、大井川田氏らはあとのほうに席をとって先輩部氏の話をだまって聞いている格好である。「県会なんてウソとカケ引き、それに先輩顔の議員の横暴が嘘をきかせどころザ」と、某一年議員のなげきもかくあらんといった光景。

○…平児童相談所には恵まれぬ不幸な子どもたちが、いつも十人くらいは収容されているが、ワケ気味だが、そこは総評の血統をあらそえぬもの「もらうだけは足をかけても、もらわなければ…」と強気なところも見せている。

○…平林薬事務所では、このほど野球チームを結成し、その第一回の試合が農地林務部浜通り地区選抜野球大会に出場したが勝負運に恵まれずかつ二対三のコールドゲームで原町農地に惨敗した。だが選抜部にいわせると「敗れたんではない、勝負に恵まれなかっただけである。勝負は点数に現われるだけじゃない」となかなか敗惜しみが強いようだ。

四倉農協組合の評価会

四倉町農業共済組合（組合長佐藤亨司氏）では四日午前十時から役場会議室で評価会を開き、三十四年度原発損害評価を取まとめた結果について、評価会長の選出について、評価会部会構成についてなどを協議する。

余韻

平市が平和都市を宣言した。広島、長崎など全国では百六十六都市目という。県下ではもちろんはじめてである。同時に平和をおびやかすものとして原水爆の反対も議会の満場一致で決議した▼平市は郡山市と共に県内では唯一の戦災都市であり、悲惨な戦争の犠牲者である。世界はじめて原爆の恐しさを身をもつて体験した広島、長崎の両氏が、この悲劇を二度と繰返すまいと原水爆禁止運動の先頭に立つて世界に呼びかけているように、平市もその体験を生かして戦争を なくす運動の先頭に立つ義務があるというわけである▼国政の焦点である安保条約改定問題にまでふれ、改定は日本の核武装と海外派兵を必頭のものと一方的に決めつけている点には、多分に疑念もある。地方の一自治体がときの天下に盲従することなく、平和への悲願を表示したことは意義がある▼しかも万が一に日本に核兵器が持ち込まれるようなことがあったとしても、そのようなもので絶滅した軍隊は歴史はもちろん、通過することも認めない。というのだから小気味よい。現実はバリケードを築いて防ぐわけにもゆくまいが、このような都市が、宣言で日本を盟めたときこそ、バリケードなしでも防ぐことができよう▼が、それは新しい国の核兵器を持ち込む口実や便法であつてはなるまい。原水爆の禁止や平和運動はよく通歩人、極端に言うならいわゆる「左」がかつた人たちのやることで、その背後にはロシヤがあったり中共が名乗りでるなどの例も少なくはなかった。平市のこのささやかな歩みを正しく育てるためには、そのような存為や扇動も締出し、平和運動を正しく理解させることが先決だろう。

平一中の七月行事予定

◇二三年生服装研修、本宮中PTA参観◇三日学校図書館研究会◇四日校内陸上競技大会◇七日郡一斉末考査◇八日同◇九日同◇十二日石城地区中学校英語弁論大会◇十四日地区生徒会（夏休みの行事について）◇十五日成績一覧表提出◇二十日郡一学期終業式、大掃除、教科書決定◇二十二日中連地区大会（陸技）◇二十三日同（柔剣道）◇二十六日中体連地区大会（水泳）

お天気
今晩、明日とも風雨があり見通しきわめて悪くなる。
（今晩）東よりの風強く時々雨（明日）東よりの風強く時々霧雨（海上）今晩、明日とも風雨があり見通しきわめて悪くなる。

病気を苦に首つり自殺

二日午前五時ごろ内郷市宮町字流一〇、雑貨商組田芳之助さん（七〇）は母屋物置で首つり自殺しているのを家人がみつけて内郷署に届けた。同署の調べで原因は病気を苦にしたもの。

落盤で生埋め

一日午後四時十五分ごろ、茨城県北茨城市磯原町、重内炭鉱第二斜坑石坑内で落盤があり、採炭作業中の同部氏さん（三三）は生埋めとなつた。発掘作業中だが、生死はわかっていない。

不幸な子ども

勝運恵まれず28対3

内郷一中の駅伝競走

横山バレーが開所

四倉農協組合の評価会

盗みと故売の二人逮捕

薬代を横領

増える失保給付

増える失保給付

増える失保給付

四倉地区の脱退を承認
植田理事長は失格
三地区には残留を説得
小川江脱退調査委員会

（昨報）きのう開かれた磐城小川江筋土地区の脱退調査委員会（神谷市郎委員長）は、脱退申入れのあった四倉町上仁井田地区など四地区について結論を出したが、四倉地区のうち四倉地区の脱退を承認した。この最終結論は中旬予定されている総代会で決めるが、四倉地区が最終的に脱退承認された場合は、植田万治郎理事長が失格となるもよう。

調査委員会の結論では❶四倉地区の三十一人（七ヘクタール）から出されていた脱退申入れは承認する❷上仁井田地区（会員三十八、七ヘクタール）については、同地区から出されていた条件を取上げ通水路の取入口を名木部落の八幡神社前から約百メートル上流に移動する❸上仁井田地区（会員百二十八人、五十一ヘクタール）は今後交渉を行い、脱退阻止の説得に当る❹戸田地区（会員十九人、三・六ヘクタール）は保留する――というものであり、これにより四倉地区を除いて脱退は保留、または取下げることに落着くもようであり、最初脱退を表明していた狐塚は申入れをしない公算が濃くなった。しかし、こうした脱退騒動も一応四倉地区だけにとどまっても、これにより愛谷江筋を合同によって昨年度から着工した金木路三面舗装工事の遅延に対する責任は、常磐線辞職にまで発展するのではないかとも見られている。この三面舗装工事は総工費五億円で、昨年度から四年計画で着工した。補助額七五%のほかは小川愛谷江筋が小川江七〇%、愛谷江筋三〇%を負担することになっており、昨年度は三百五十万円、さらに今年度は七百万円で行う予定だが、負担金七〇%まで占める小川江筋側は脱退騒動をはじめとして、同工事に足並が不揃いである。現在会員二十二人のうち、工事に同意している会員は約一千二百人だという。この結果は内部の不統一によるものと、幹部に対する一部会員間で不評がたかまっている状況である。

神谷委員長談「調査は慎重に進めたが、結果として四倉地区の脱退を阻止することができず、脱退を承認することにした。他の三地区はなんとか解決できる見込みだ。委員会の結論を2月中旬ごろ総代会を開いて、最終結論を出すことになる見込みだ。」

熱心に聞きいる
海外移住の説明会

きょう県石城事務所で海外移住についての説明会が開かれた。県農林課村上振興係長と県海外移住協会大谷主事らが来平し、午前中は市町村事務関係者に対する事情説明、午後からは移住希望家族に対する説明を行ったが、管内市町村から集った移住希望者が熱心に係の説明を聞きいっていた。現在、本県にもたらされた移住の募集は但馬関係で呼寄せと政府斡旋など六百八戸、三百六十八人となっており、入植地は熊州アラサツーバホルモーザのコーヒー園、パラナ州アサイのコーヒー園、紐野家地帯など十四地区となっている。呼寄せは、いずれも本県出身者で、コーヒー園や果樹、養豚、洋服店、職種所等に従われるものなので、ことしに入って去る五月に本県から八戸、五十七人が出発したほか、四月には三戸、十八、八月出発予定は八戸の四十二人、手続き中が出身七人いる。

四倉史学会報二集

四倉史学会（会長本多徳治氏）では史学館の開設を記念して四倉史学会会報〃第二輯を発刊した。これは菊版A型三十二頁、会員の寄稿者は根本忠孝氏（このみの浜去る二十八日ごろを中心にツユの中休みがあったが、またまたツユもようの天気になっている。小名浜測候所が発表した七日までの予報によれば「はっきりした天気が多いことに託宣している。それになる二、再びツユもようの天気になり曇りがちの天気が多くなる。そのうちでも一日から二日にかけて、四日から五日にかけて太平洋付近を通る低気圧が通るので、このころ雨が降りやすい。その他の日は曇雨の降る程度の見込みである。気温は二日から五日にかけて低目となるが他の日は平年並。海上は二日と五日ごろ風波高くなる。なお朝晩は霧のため見通しが悪くなる」

平和都市を宣言
平市議会

平市六月定例会は一日午後一時再会、平和都市宣言、原水爆実験と核兵器使用禁止などを決議したあと二幕開始の施策、農業振興、機構改革と本年度新など三十数日にわたって市民に説明する。

「原水爆禁止決議文」

一、政府は日本本土、沖縄への核・ミサイル兵器持込みを中止し同時に自衛隊の核・ミサイル兵器装備等の計画を放棄すべきである一、日本の核武装と海外派兵を恒久化する安保条約改定を即時止めるべきである一、政府、国会は速やかに日本の「非核武装宣言」を発しアジア、大平洋を核非武装地帯とするよう各国政府に働きかける一、平市には核・ミサイル兵器を持込むことを許さず、これを表明した軍隊の通過駐留を認めない一、内外の代表殺一万名を集めて開かれる第五回原水爆禁止世界大会を支持し、これへの参加、協力を行う。

◆国井議員＝❶常磐総合開発に対する施策と平小線の早期完成を図れ❷農業土木の根本的施策と実態を把握した予算編成❸中小企業のため工場誘致などによる振興策

蹟橋市長＝❶五市との組合のため公営バスが最も重要である。しかし平市の路線は小名浜機の路線にあり、それには工場の誘致を図らねばならぬ❷根本施策を早期につくる❸中小企業路

◆四家議員＝❶不明朗な人事を排除せよ❷全地域にわたる都市計画を樹てること❸観光地などが非衛生的である❹漁村振興策として沿岸、浅海漁の振興施策はあるか

蹟橋市長＝❶機構改革や人事については今後研究検討、明朗なものにする❷都市計画は全地域

◆中野議員＝❶固定資産税の不均衡調整路上と減税❷補塡塡誘致のその務❸鹿田踏切に自動警報機を設置せよ❹新興子での事故を防ぐのため全力をつくす

◆中野議員＝❶固定資産税の不均衡調整路上と減税❷補塡塡誘致のその務❸鹿田踏切に自動警報機を設置せよ❹新興子での事故を防ぐ

明朗な人事刷新を
職員採用基準の設置

対策はあるのか

樋口助役＝❶機器等を上げることについては積み検討を加える❷補塡塡は予算の関係で遅れているが、早期実現を期したい❸警

か、これに用する予算を計上せよ❹職員採用基準を設定せよ❺二十九、三十の四年に行われた土地区画整理に伴う精算事務の処理はどうなっているのか❻職員会議とい

らもものまちつくせ

樋口助役＝❶全体の機構を改革せねばならぬので検討を加える❷採用条例については充分調査検討のうえで決めたい❸精算事務は早期解決を図る

◆坂本（彩）議員＝❶農村地帯に常駐保育所の設置❷道路改良と

完全なものにする

鹿岡議員＝本年度はアフビ三百万を繰延するほかに二億補塡を計画している

◆塩田議員＝❶上河原地内の塩地整理❷公営バス事業赤過報告について❸土木課長病欠による対策はあるのか

蹟橋市長＝❶塩地は調査のうえ善処する❷土木課については支障のないよう対策をとる

◆上振議員＝❶土木課の機構改革❷下水道網が行きとどいていない

◆大和田議員＝職員保育所市移設❷人事の刷新として六才以上の職員❸道路側溝改修❹職員採用基準の設定❺平小線と管理界道の中員拡充

樋口助役＝❶保育所は調査の上検討したい❷平小線は平小線と接続

◆鈴木議員＝正内町北目の都市計画

核兵器の持込みを許さぬ
平電機区誘致委員会を設立

平市の産業振興と核兵器使用禁止などを決議したあと、平和都市宣言、原水爆実験と核兵器使用禁止などを決議したあと三十数日にわたって市民に説明する。

宣言は常磐総合開発の施策、農業振興、機構改革と本年度新など